



青少年の主張を発表した児童・生徒たちと青少年育成桜川市市民会議役員の皆さん

青少年の主張大会で、小・中・高校生熱い思い語る！

平成25年12月7日、大和ふれあいセンター「シトラス」において、青少年育成桜川市市民会議主催の「第8回桜川市青少年の主張大会」が開催されました。本大会は、青少年が日常生活の中で感じたことなどを社会に訴え、地域の大人が子どもたちの願いや意見をくみ取り、青少年育成活動に反映させることを目的としたものです。

当日は市内の各小・中・高校から選ばされた児童・生徒19人が「地球と共存していくために」、「夢をかなえるための3つのこと」、「挑戦する心」など様々なテーマでそれぞれの主張を発表しました。

晩秋の森に、多彩なイベントとたくさんのお店が集まった「森」ミイさ

平成25年11月24日、上野沼やすらぎの里を会場に「森コミいち」が開催され、自然の中で作り手や来客者が巡り合い、交流を深めようと大勢の来場者でにぎわいました。

このイベントは、北関東3県を結ぶ北関東自動車道桜川筑西ICと国道50号線が直結する場所で行い、まちを元気にして地域間交流を図るために企画・運営されたもので、茨城・栃木・群馬県から約80店が出店。会場には、革製品や手作り雑貨、農産物の展示販売、いわせ蕎麦の会の新そば祭り、真壁高校生の加工品などの販売、美味しいフードなど、数多くの「いち」が並びました。



森と水辺に囲まれた自然豊かな公園で、作り手と使い手が交流するにぎわいの「市」の様子

岩瀬カラオケ連合会から市教育委員会に寄付

平成25年11月20日、岩瀬カラオケ連合会（鈴木勝会長）から、市内小中学校の児童生徒の学力向上の一助として教育教材の購入などに役立ててほしいと、市教育委員会に寄付がありました。

これは、同連合会が岩瀬体育館「ラスカ」で開催したカラオケ発表会とともに開催したチャリティー文化祭で、チャリティーの趣旨に賛同する会員からの募金を寄付していただいたものです。市教育委員会では、児童生徒の学力向上に使わせていただきます。



岩瀬カラオケ連合会の鈴木勝会長（写真左から、大塚市長（写真右から2人目）へ寄付金が手渡されました。

上の原学園「うまかつべ祭り」から市の災害対策などへ寄付

平成25年11月25日、社会福祉法人上の原学園から、台風の被害をはじめとする自然災害時の災害対策の義援金として市に寄付がありました。

これは、同学園が地域交流を目的として、農場仕事で採れた農産物を無料で提供する「うまかつべ祭り」により、バザー品販売や抽選会などを実施。その売上金を寄付していただいたものです。

同学園は、「昨年は台風や大雨の被害により、浸水被害や農業施設の破損などの災害が発生したとこのことで、少しでもお役に立てていただきたい」と話していました。



上の原学園の小松善道副施設長（写真中央右側から、市の災害対策に役立ててほしいと大塚市長（写真中央）へ寄付金が手渡されました。

エジプトから帰国 青年海外協力隊の黒崎久美子さん

JICAの青年海外協力隊の一員として、エジプトに2年間派遣されていた黒崎久美子さん（岩瀬地区）が、現地での任務を終え、平成25年6月に帰国しました。

着任中に黒崎さんは、現地では一般的ではない「遊びから学ぶ保育」を取り入れようと、セミナーなどを定期的に行ったり、教材製作方法をまとめた冊子を作成したりしました。

黒崎さんは、「遊びから学ぶ保育」が定着していくにつれて、子どもたちの表情が明るくなっていったことが嬉しかったです」と現地で活動を話し、帰国後の現在も保育活動に携わっています。



子どもたちと「運動遊び」の一つ、ゴム飛びをする黒崎久美子さん（写真中央）

岩瀬ドッジスターズ 茨城新聞社杯でベスト4

平成25年10月13日、ひたちなか市総合運動公園で開催された「茨城新聞社杯第16回茨城県ドッジボール選手権大会」で、岩瀬ドッジスターズがベスト4になり、上位4チームに与えられる関東大会へ、結成してから初めての出場を決めました。

同大会には、県内から小学3年〜6年生で構成された30チームが参加。同チームはトーナメント戦5試合を戦いました。キャプテンの小野寺輝司さんは、「チームの一人ひとりが全力でぶつかっていきました。これからは全員ドッジを合言葉に試合のぞんでいきます」と話していました。



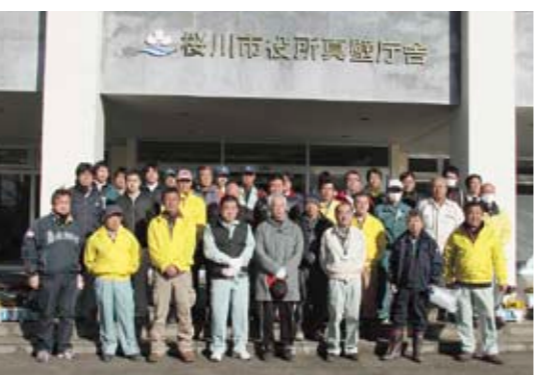
茨城新聞社杯ベスト4で関東大会初出場を決めた「岩瀬ドッジスターズ」の皆さん

不法投棄撤去

平成25年12月14日、県産業廃棄物協会東西支部主催の「筑波山クリーンアップ大作戦」が行われました。

これは、筑波山周辺で不法投棄された廃棄物などを撤去し、環境や景観を良くしようとするものです。

当日は、同協会加盟企業や大塚市長、市職員など約60人が参加。薬王院周辺や湯袋峠の県道沿いなどに不法投棄されていた大型の廃棄物や空き缶、ペットボトルなど計1.3トンを回収しました。同大作戦は今年5回目で、これまでの不法投棄の総回収量は約10トンにも上りました。



1.3トンの不法投棄物撤去作業を行った皆さん

7合のご飯を食べ合う「大飯祭り」

平成25年12月8日、下泉地区の集会所で「大飯祭り」が開催されました。約500年続くこの伝統行事は、地元の鹿島神社の氏子たちが集まり、作物の実りへの感謝と健康を祈願するものです。

当日は、お椀に高く盛りられた7合のご飯を氏子たちが食べ合い、途中で「今浜さま」と呼ばれる神様が、もっと食べろとご飯を進めて回りました。同地区の仁平俊夫区長は、「数年前までは、当家の家で祝っていたこの伝統のあるお祭りを絶やす事なく続けて行きたい」と話していました。



氏子たちに、高く盛りられた7合のご飯をもっと食べると進めて回る今浜さま